

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リトルジェム2nd		公表日		2026年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 運営・ 準備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	・訪問に何った際に、あった方がいいと感じた教具や教材に関しては、訪問先に使用許可を得てから取り入れている。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	・職員の配置数は適切だと思うが、その分児童での職員数が足りていないと感じる。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	・常に児発管との情報共有をおこない、訪問時の観察点などを擦り合わせている。・訪問の度に、児発管と訪問員とで振り返りを行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・今年度より保育所等訪問支援を開始したので、今後はいただいた評価表の内容を業務改善に繋げていく。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	・気になることがあるときには、すぐに意見を交換している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	・研修に参加できなかった訪問員に関しては、研修の内容を共有している。		
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	・関わる職員の意見も取り入れながら、個別支援計画を作成している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	・訪問先とも連携も密に行いながら、意向を取り入れることができています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	・個別支援計画に沿って、観察する場面に訪問し、必要に応じて直接支援を行っている。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	・モニタリングの際はTASPを利用している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	・訪問前には必ず児発管と訪問場面について確認し、家族や訪問先との意向に相違がないかのチェックを行っている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	・訪問後には必ず支援内容を報告し、訪問員からの視点や児発管からの視点で振り返りを行っている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	・訪問先の方針を念頭に置き、支援を行っている。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3	0	・訪問毎に報告書を作成し、訪問時の様子を詳しくまとめている。		
関係 機関 や 保護 者 との	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	・訪問時に訪問先の意向が確認できるように話せる場を設けてもらっている。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	・就学支援シートを提供している。		
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0			
24	(自立支援)協議会子子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	定期的に参加している。			

連携	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・児発での送迎の際に、保護者と話す時間を設け、こどもの状況について話している。 ・訪問を行った月に面談を行い、訪問時の様子をお伝えしたり最近の様子を伺ったりし、共通理解を深めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	・ペアレントトレーニングは行っていないが、研修や説明会などの情報提供を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	・契約時に行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	・契約時に行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	・作成毎に説明を行い、同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	・電話やHUGのメッセージ、面談などで助言と支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	0	・児発で保護者同士で交流する機会を設けていることが、訪問支援についても話しあうことに繋がっていると考える。 ・年に数回交流の場を開催している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	・訪問回数についてなど、保護者からの相談や申入れで変更を行っている。 ・何か相談を受けたときには、速やかに対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0		・HUGの活動記録やSNSで発信しているが、もう少し頻度を増やしたい。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	・質問や相談があった際には、その都度助言を行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	・直後に行えないこともあるが、情報共有は行えている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	・訪問を行った月中に面談を行い、訪問時の様子やできていたこと、課題と感じた点やそれらに対する支援方法のご提案をしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	・児発と併用して利用している子どもは、各種避難訓練を通所時に行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	・訪問時のヒヤリハットがこれまでないが、あった際には共有と再発防止策を検討する。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	・年に一度、虐待防止に関する研修を受けている。	
	46	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	3	0	・開催後は、従業者に周知徹底できている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	・必要に応じて保護者の了承を得た上で、個別支援計画に記載している。	